

岐阜市生物多様性プラン
計画期間：2016年度-2025年度

第2期アクションプラン（案）
2020-2022

多様な生きものと
“あたりまえ”に暮らすまち

岐阜市生物多様性プラン
計画期間：2016年度-2025年度

目 次

1. アクションプランの目的	1
2. アクションプランの期間	1
3. 第2期アクションプランの構成	
(1) 策定方針の考え方	2
(2) 重点目標の見直し	2
(3) アクションプランの構成	2
4. アクションプランの管理方法	3
5. アクションプラン総括表	4
6. 指標と目標値	5
7. 個別目標	6



達目洞

岐阜市の貴重野生動植物種であるヒメコウホネが自生する達目洞は、環境省により「生物多様性保全上重要な里地里山」に選定されています。

毎月、達目洞自然の会が作業を実施し、保全に取り組んでいます。



長良川から望む金華山

金華山は最高点標高 338m（三角点標高 329m）と登りやすい高さであり、さらに複数の登山道が整備されていることから、多くの市民に親しまれています。

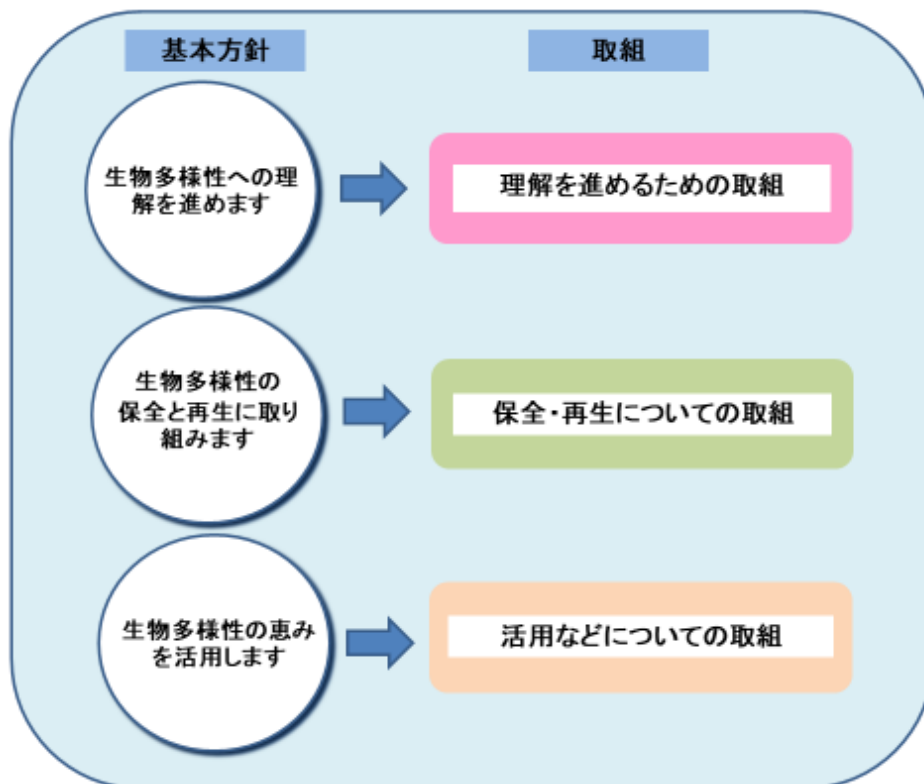
金華山付近の長良川では、毎年、ぎふ長良川鵜飼が開催されます。

1. アクションプランの目的

2016年3月に策定した岐阜市生物多様性プラン（以下、「生物多様性プラン」という。）では、目指すべき将来の岐阜市の姿を「多様な生きものと“あたりまえ”に暮らすまち」とし、3つの基本方針に基づく取組を推進することとしています。

「生物多様性プラン」では、この取組の進ちょく状況を管理していくために、およそ3年ごとの数値目標を設定したアクションプランを作成することとしています。

図1 岐阜市生物多様性プランの体系



2. アクションプランの期間

アクションプランは3年ごとの期間とし、「生物多様性プラン」の計画期間の間に3回にわたってアクションプランを改定します。

表1 アクションプランの対象期間

西暦年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
和暦年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
生物多様性プラン	策定 → 目標年度									
アクションプラン		第1期アクションプラン			第2期アクションプラン			第3期アクションプラン		
		完了		策定		目標年度	策定		目標年度	

3. 第2期アクションプランの構成

(1) 改定方針の考え方

第1期の進捗結果を踏まえ、達成度が低い取組みを改善又は継続、達成度が高い取組みを拡大に切り替え、アクションプランの見直しを行いました。

表2 第1期アクションプランの評価と策定方針の考え方

第1期アクションプランの個別目標	評価（達成度）	策定方針の考え方
A1 生物多様性認知度の向上	やや遅延	改善
B1 行政内部における生物多様性に対する理解の向上	順調	継続
C1 保全対象種の選定	順調	継続
C2 ホットスポットの選定	順調	拡大
D1 外来種対応指針の策定	順調	拡大
E1 行政・研究者・市民の協議会の向上	順調	継続
F1 「小さな自然再生」に係る協議・事業機会の向上	順調	継続
G1 長良川流域環境ネットワーク協議会の環境保全活動の向上	順調	継続
H1 生物多様性に関連した産業の推奨	順調	継続

(2) 重点目標の見直し

「(1) 改定方針の考え方」に基づき、第2期アクションプランで実施する重点目標を、「つながりの拡充・整備」を柱に整理・集約し、第1期で未達成だった目標「生物多様性の認知度向上」を改善します。

■重点目標「つながりの拡充・整備」

A 市民・行政内への周知・啓発

環境保全活動、環境教育、シンポジウムなどを実施し、市民・行政内部における、生物多様性の理解と認知度の向上を目指します。

B 生物多様性保全の連携ネットワークの拡大

市民・行政・有識者の連携ネットワークを拡大し、生物多様性の保全と再生の推進を行います。

C 生物多様性の現状把握と対策検討

「岐阜市の自然情報調査」を実施し、岐阜市の生物多様性の現状把握をすると共に、危機的な状況にある種等の保全のありかたを検討します。

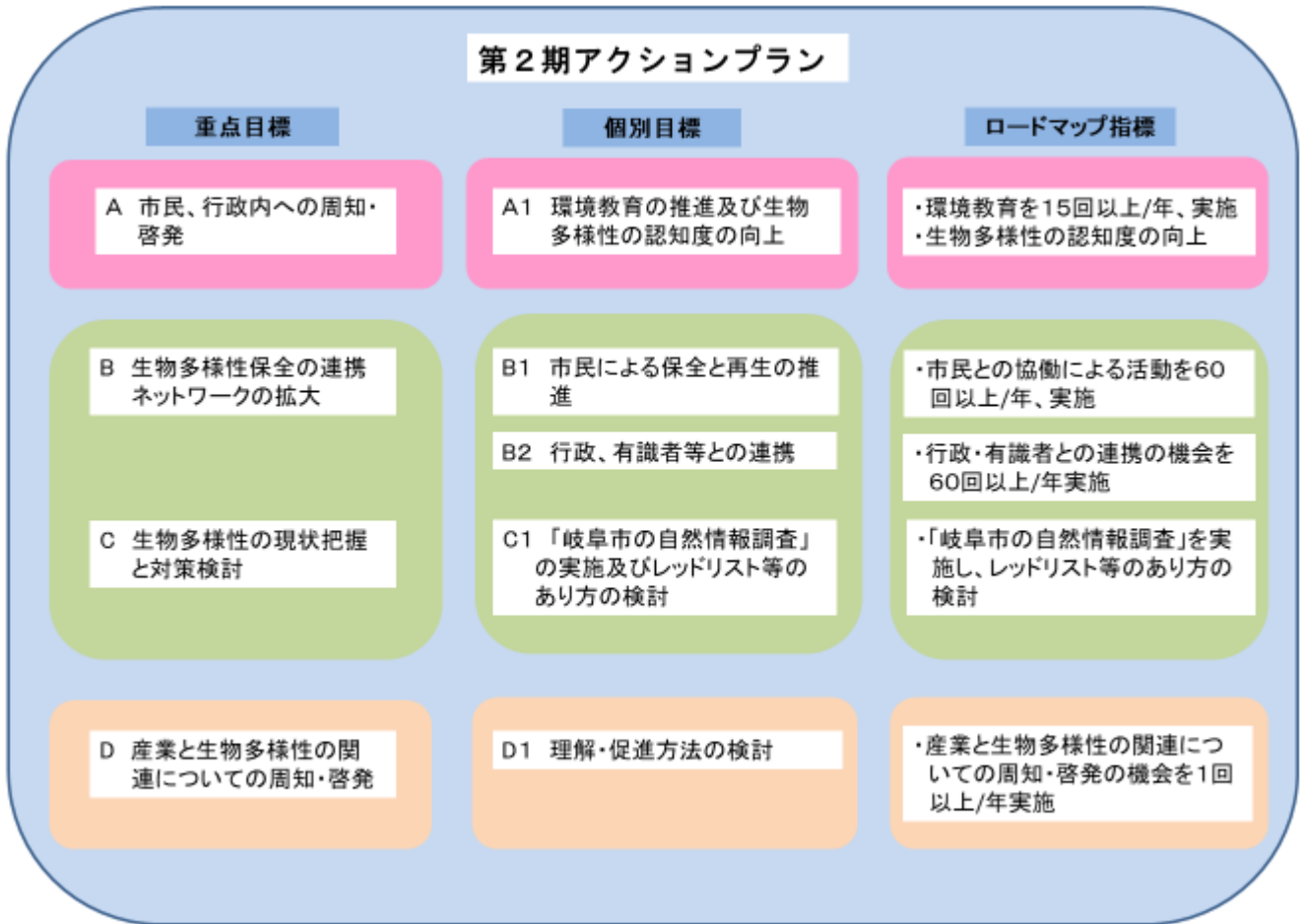
D 産業と生物多様性の関連についての周知・啓発

産業のなかには、生物多様性と深く関係するものがあることを周知・啓発します。

(3) アクションプランの構成

第2期アクションプランでは、4つの重点目標、重点目標を達成するために必要な5つの個別目標、進捗状況を管理するロードマップ指標を設定します。

図2 第2期アクションプラン（2020～2022）の構成

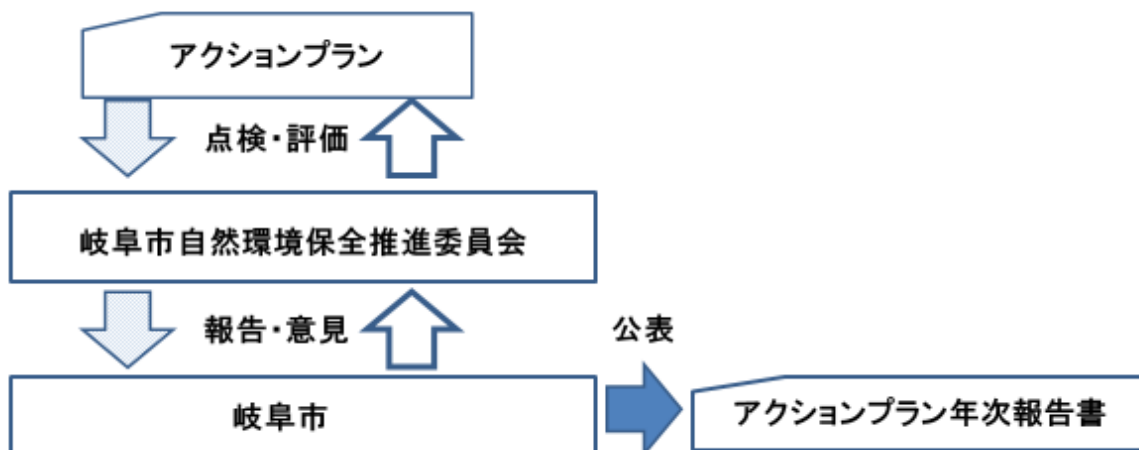


4. アクションプランの管理方法

「生物多様性プラン」では、アクションプランの進捗状況を毎年点検し、評価結果を公表することとしています。点検・評価は岐阜市自然環境保全推進委員会において行い、「岐阜市」は、その点検・評価結果を「アクションプラン年次報告書」にて公表します。

なお、点検・評価結果を踏まえ、必要に応じてアクションプランの見直しを行います。

図3 アクションプランの管理体制



5. アクションプランの指標と目標値

表 3 アクションプランの指標と目標値

指標	目標 2022 年度	進ちよく状況の実績		
		2020 年度	2021 年度	2022 年度
A1 環境教育を 15 回以上実施します (回/年)	15 回以上			
A1 生物多様性の認知度の向上 (%)	50%以上			
B1 市民との協働による活動を 60 回以上実施 します (回/年)	60 回以上			
B2 行政、有識者との連携の機会を 60 回以上 実施します (回/年)	60 回以上			
C1 「岐阜市の自然情報調査」を実施	岐阜市の自然情報調査 取りまとめ			
C2 レッドリスト等のあり方を検討します	「岐阜市の自然情報調査」を受け、 レッドリスト等の検討			
D1 産業と生物多様性の関連についての周知・ 啓発の機会を 1 回以上実施します (回/年)	1 回以上実施			

6. アクションプラン総括表

表4 アクションプランの重点目標と個別目標総括表

重点目標と個別目標	個票 ページ	進捗状況		
		2020	2021	2022
A 市民、行政内への周知・啓発				
A1 環境教育の推進及び生物多様性の認知度の向上	6			
B 生物多様性保全の連携ネットワークの拡大				
B1 市民による保全と再生の推進	7			
B2 行政、有識者等との連携	8			
C 生物多様性の現状把握と対策検討				
C1 「岐阜市の自然情報調査」の実施及びレッドリスト等のあり方の検討	9			
D 産業と生物多様性の関連についての周知・啓発				
D1 理解・促進方法の検討	10			

進捗状況：順調◎、ほぼ順調○、やや遅延△、遅延×

※岐阜市自然環境保全推進委員会の意見を記載する。

全体評価		
2020		
2021		
2022		

7. 個別目標

個別目標個票 A1

基本方針	生物多様性への理解を進めます
取組	理解を進めるための取組
重点目標 A	市民、行政内への周知・啓発
個別目標 A1	環境教育の推進及び生物多様性の認知度の向上
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・環境教育関連事業やシンポジウム等の啓発活動を行う。 ・市民団体の開催する環境教育活動の周知・支援を行う。 ・市民団体が行う環境教育の把握を行う。 ・市内・関係行政機関への周知・啓発を行う。

■ロードマップ

指標	基準値 (2018年度)	2020	2021	2022
環境教育を 15 回以上/年実施します	15 回	15 回以上/年 実施	15 回以上/年 実施	15 回以上/年 実施
生物多様性の認知度の向上	36%	増加	増加	50%以上

※環境教育の算出方法：岐阜市役所が行う、環境教育の合計

※認知度の算出方法：ぎふメディアコスモス来館者 500 人へのアンケート調査と「岐阜市まるごと環境フェア（岐阜市エコフェスタ）」来場者 500 人へのアンケート調査結果

個別目標個票 B1

基本方針	生物多様性の保全と再生に取り組めます
取組	保全・再生などについての取組
重点目標 B	生物多様性保全の連携ネットワークの拡大
個別目標 B1	市民による保全と再生の推進
取組方針	<p>連携ネットワークの拡大に繋がるよう取組内容を重視し、以下の取組を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然ふれあい活動支援事業を行う。 ・市民団体と協働して、環境保全活動を行う。 ・生物多様性保全に係る市民団体イベントへの参加や支援を行う。 ・長良川流域環境ネットワーク協議会の活動参加や支援を行う。 ・岐阜市ホットスポットの活用検討を行う。

■ロードマップ

指標	基準値 (2018年度)	2020	2021	2022
市民との協働による活動を 60 回以上/年実施します	73回	60 回以上/年 実施	60 回以上/年 実施	60 回以上/年 実施

~~※73回の内、14回は個別目標 B2 と重複する。~~

個別目標個票 B2

基本方針	生物多様性の保全と再生に取り組めます
取組	保全・再生などについての取組
重点目標 B	生物多様性保全の連携ネットワークの拡大
個別目標 B2	行政、有識者等との連携
取組方針	<p>連携ネットワークの拡大に繋がるよう取組内容を重視し、以下の取組を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性保全に係る行政、有識者が連携する会議、協議、情報提供等の機会を設け、つながりの構築を行う。 ・国や県の実施する調査事業等への参加・協力を行う。 ・各種団体等が行う研修会、シンポジウム等に参加・協力を行う。

■ロードマップ

指標	基準値 (2018年度)	2020	2021	2022
行政、有識者との連携の機会を 60 回以上/年、実施します	76回	60 回以上/年 実施	60 回以上/年 実施	60 回以上/年 実施

~~※76回の内、14回は個別目標 B1 と重複する。~~

個別目標個票 C1

基本方針	生物多様性の保全と再生に取り組めます
取組	保全・再生などについての取組
重点目標 C	生物多様性の現状把握と対策検討
個別目標 C1	「岐阜市の自然情報調査」の実施及びレッドリスト等のあり方の検討
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・「岐阜市の自然情報調査」を実施し、岐阜市内に生息・生育する動植物の把握を行う。 ・「岐阜市の自然情報調査」の結果を基に、次期レッドリスト等についての検討を行う。

■ロードマップ

指標	2020	2021	2022
「岐阜市の自然情報調査」を実施	岐阜市の自然情報調査を実施	→	岐阜市の自然情報調査取りまとめ
レッドリスト等のあり方を検討します	レッドリスト等の作成方針を検討	→	「岐阜市の自然情報調査」を受け、レッドリスト等の検討

個別目標個票 D1

基本方針	生物多様性の恵みを活用します
取組	活用などについての取組
重点目標 D	産業と生物多様性の関連についての周知・啓発
個別目標 D1	理解・促進方法の検討
取組方針	
<ul style="list-style-type: none"> ・普及・活用部会において、生物多様性関連産業についての協議を行う。 ・ワークショップ等を開催し、市民への周知・啓発の機会を設け、啓発による意識の変化を把握する。 	

■ロードマップ

指標	2020	2021	2022
産業と生物多様性の関連についての周知・啓発の機会を 1 回以上/年、実施します	1 回以上/年 実施	1 回以上/年 実施	1 回以上/年 実施